＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	かごしまよか家
グループの名称	ダーウィンの会
直近採択グループ番号	06-0046-0795

（グループ代表者）

代表者名	長野　明人　　代表者印
代表者所属先	株式会社　木脇
代表者所在地	鹿児島県鹿児島市東開町3番地75号
代表者電話番号	099-269-5031

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　木脇
事務局担当者名	遠藤　一馬　　印
事務局郵便番号	891-0115
事務局所在地	鹿児島県鹿児島市東開町3番地75号
事務局電話番号	099-269-5031
事務局FAX	099-268-5002
事務局担当者E-mail	kiwakisyoukai@leaf.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	かごしまよか家
２．グループの名称(必須)	ダーウィンの会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0046-0795
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	長野　明人
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　木脇
８．グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町3番地75号
９．グループ代表者電話番号(必須)	099-269-5031
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　木脇
１１．グループ事務局担当者名(必須)	遠藤　一馬
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	891-0115
１３．グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町3番地75号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	099-269-5031
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	099-268-5002
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kiwakisyoukai@leaf.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	7	
Ⅵ．施工	11	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	□　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内
	かごしま材	鹿児島県	かごしま材の証明	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		20	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	20	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	10	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	公平を期するために、先着順にて配分する。 ただし各施工業者ごとの配分上限戸数を設ける。追加募集採択の祭はその限りではない。 定数を超えるときは抽選、若しくは事務局による選択を行うものとする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

採択戸数	7	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	7	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸

優良建築物型

採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
46	Ⅰ － 2	かごしま森林組合		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町6140番地1	0993-56-0079
46	Ⅰ － 3	鹿児島県森林組合連合会		892-0816	鹿児島県鹿児島市山下町9番15号	099-226-9471
46	Ⅰ － 4	霧島素材生産協同組合		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段401番地2	0995-54-8055
46	Ⅰ － 11	北薩森林組合		895-1811	鹿児島県薩摩郡さつま町虎居5222番地1	0996-53-0116
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
46	Ⅱ － 5	株式会社 南薩木材加工センター		897-0133	鹿児島県南九州市川辺町下山田4228	0993-57-2677
46	Ⅱ － 6	上野木材有限会社		899-6207	鹿児島県姶良郡湧水町米永650-1	0995-74-2150
46	Ⅱ － 7	株式会社 西村		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段401番地2	0995-54-8055
46	Ⅱ － 8	株式会社 東木材		898-0065	鹿児島県枕崎市桜山東町969番地	0993-72-0101
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
46	Ⅲ － 24	株式会社 木脇		891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3番地75号	099-269-5031
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
46	Ⅳ － 9	鹿児島県木造住宅協同組合		891-0131	鹿児島県鹿児島市谷山港一丁目2番4号	099-262-5112
46	Ⅳ － 10	北薩材プレカット事業協同組合		895-1816	鹿児島県薩摩郡さつま町時吉2033-5	0996-52-0888
46	Ⅳ － 12	大和木材株式会社		891-1104	鹿児島県鹿児島市油須木町1299-1番地	099-245-7048
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
46	Ｖ － 13	森建設株式会社		890-0055	鹿児島県鹿児島市上荒田町29-23	099-256-0877	○	
46	Ｖ － 15	株式会社感動		890-0032	鹿児島県鹿児島市西陵３丁目２８番２２号	099-296-8881	○	
46	Ｖ － 17	株式会社　センチュリーハウス		890-0056	鹿児島県鹿児島市下荒田３丁目２７－２１	099-813-0001	○	
46	Ｖ － 19	有限会社林工務店		899-4332	鹿児島県霧島市国分中央１丁目１４－１８	0995-47-0096	○	
46	Ｖ － 20	丸岡建設株式会社		899-5421	鹿児島県姶良市東餅田１７６８－１	0995-65-2077		○
46	Ｖ － 21	鎌田建設株式会社		899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根１４１番地	0995-46-3000	○	
46	Ｖ － 25	株式会社末広		899-5114	鹿児島県霧島市西光寺１０番地	0995-42-0654	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							11	○	○
46	Ⅵ － 13	80794	森建設株式会社		890-0055	鹿児島県鹿児島市上荒田町29-23	099-256-0877	○	
46	Ⅵ － 14	80824	有限会社　日置住建		897-0131	鹿児島県南九州市川辺町かみやまだ556-2	0993-57-3222	○	
46	Ⅵ － 15	80749	株式会社感動		890-0032	鹿児島県鹿児島市西陵3丁目28番22号	099-296-8881	○	
46	Ⅵ － 16	80707	株式会社　タケシタ		896-0024	鹿児島県いちき串木野市美住町110番地	0996-32-9091	○	
46	Ⅵ － 17	80705	株式会社　センチュリーハウス		890-0056	鹿児島県鹿児島市下荒田3丁目27－21	099-813-0001	○	
46	Ⅵ － 19	80849	有限会社林工務店		899-4332	鹿児島県霧島市国分中央1丁目14－18	0995-47-0096	○	
46	Ⅵ － 20	80781	丸岡建設株式会社		899-5421	鹿児島県姶良市東餅田1768－1	0995-65-2077		○
46	Ⅵ － 21	80780	鎌田建設株式会社		899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根141番地	0995-46-3000	○	
46	Ⅵ － 23	80787	合同会社　アリビオファム		899-5302	鹿児島県姶良市蒲生町米丸1554-2	0995-70-0435		○
46	Ⅵ － 25	80776	株式会社末広		899-5114	鹿児島県霧島市西光寺10番地	0995-42-0654		○
46	Ⅵ － 26	80725	株式会社　本田建設		899-2103	鹿児島県いちき串木野市大里5508-3	0996-36-2285	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELSエ務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
46	Ⅵ － 13	80794	森建設株式会社	3 戸	1 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 14	80824	有限会社 日置住建	2 戸	1 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 15	80749	株式会社感動	3 戸	8 戸	2 戸	6 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ － 16	80707	株式会社 タケシタ	5 戸	6 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	○
46	Ⅵ － 17	80705	株式会社 センチュリーハウス	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 19	80849	有限会社林工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 20	80781	丸岡建設株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 21	80780	鎌田建設株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 23	80787	合同会社 アリビオファム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 25	80776	株式会社末広	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 26	80725	株式会社 本田建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）かごしまよか家	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）ダーウィンの会	（結成年）2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0046-0795	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	*耐震性能向上の推進 *遮熱性能向上の推進 *断熱性能向上の推進 *防水性能向上の推進	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	*県産材利用の推奨（構造材50%以上） *施工業者は、鹿児島県内で構成 *自然資源の有効活用 *木造軸組工法の推奨	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	*創エネ・通風・採光を考慮したデザイン *家族のコミュニケーションが取れるデザイン *建物の形状や遮熱の工夫による快適な住空間デザイン	○
④ ①～③の背景	*鹿児島県の住宅政策の一つとして提示している「かごしま環境共生住宅」の基本コンセプトに則り、4つの方針と15のテーマ、そして38の政策を地域特性と捉える。あわせて、地域型住宅グリーン化事業の方針に沿って、グループ内で検討、共通ルールとして取り入れる。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	*熊本地震の影響で耐震のみではなく、免震にも興味を持って取り組みたい。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：杉材のスパン表を参考にプレカット構成員と協議を行い、一定のスパンの材成の基準を決めて、施工構成員へ提案している。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：木造住宅の基礎資材を中心に統一化を進めています。 ①床材下地への合板仕様 ②屋根下地材へ合板仕様 ③床下換気への基礎パッキン使用。 等々	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：標準プランの作成。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：プレカット加工に付随する合板については、資材供給の窓口を一本化しておりコスト面や供給面で安定化を保っている。	◎
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：組織自体の設置は行った。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：各構成員の意識向上の啓発の情報発信。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：住宅支援機構の標準仕様を基本としている。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：申請図面の性能/審査を事前に行う窓口が一本化しており物件においての差異は生じないようになっている。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：木材/プレカット加工においては、出荷窓口が一本化しており、品質及びコストにおいて安定して供給できている。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：完成現場見学会は、必須となっている。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：各構成員とのミーティング時、議題取上・導入促進話合い。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：各構成員とのミーティング時、現状確認のみ。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：現状未確認。今後、各構成員とのミーティング時要確認。	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：各構成員の業者会等々での報告実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）かごしまよか家	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ダーウィンの会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0046-0795	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：新規参入者は、事務局が勧める登録機関の利用をお願いしなるべく分散しないように図る。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：国土交通省「登録住宅履歴情報システム」登録機関における履歴管理を利用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局運営項目で明記。施工構成員に履歴情報蓄積先を確認すること。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ独自のメンテナンス/補修のルールブックに基づく。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ独自のメンテナンス/補修のルールブックに基づく。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ独自のメンテナンス/補修のルールブックに基づく。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：毎年1回、問屋のイベントとして行う。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：完成見学会時のイベントとして行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：各構成員の代表で構成されている。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：施工構成員の、不測の事案については有償を前提に当グループ内の適任者が施主の相談に乗る。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：当グループ独自の運営マニュアルに則る。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループ独自の運営マニュアルに則る。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：当グループ独自の運営マニュアルに則る。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：来年の受注状況が予測される1月に各社のヒヤリングを行い予測に合わせた行動を組み立てる。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店の地域型住宅グリーン化事業新規参入の推進による地域工務店のレベルアップ。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10		今年度の参加目標人数 10	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5		今年度の参加目標人数 5	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：省エネ技術講習会の開催スケジュールが解り次第各構成員へ情報を入れている。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：メーカー及び建材流通業者からの新情報を適時グループ内に配布する。	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			新たな技術への取り組みは常時グループ内業者と密に連絡を取り研修等を組む。			

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）かごしまよか家	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ダーウィンの会	（結成年）2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0046-0795	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造部への鹿児島県産材（含認証かごしま材）の利用50%以上	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：■ 使用していない　□ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木（鹿児島県） ↓　産地証明、合法木材 製材所（かごしま材、認証かごしま材） ↓　県産材出荷証明 木材流通業者 ↓　図面情報、打ち合せ、発注 プレカット ↓　加工後搬入 木材流通業者 ↓　検品、現場搬入、出荷証明 補助事業者　⇔　施主　（図面打ち合せ等）	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある　→　内容：　定期的に仕入先からヒアリングした情報をグループ内へ連絡。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある　→　内容：　定期的に仕入先からヒアリングした情報をグループ内へ連絡。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　日常的に行っている需給予測	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定数（1畳換算）　300枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定数　500坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定数（3×6換算）　50枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定数（3×6換算）　50枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　地域コミュニケーションで支えあっている風土を活かす事を考慮し、外部との繋がりがあり開放感を感じられるデザインを推奨している。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　必然的に家族のコミュニケーションがうまく取れるデザインを推奨している。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　色デザインとも地域の景観を損なわないデザインを推奨している。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　塗り壁や腰壁で和のテイストを取り入れたデザインを推奨している。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		家本体だけでなく、外溝デザインまで取り入れて取り組んでいく。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当グループが行うイベント開催時には、震災復興に寄与する商品の購入を推奨する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	当グループが行うイベント開催時には、震災復興に寄与する商品の購入を推奨する。	○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）かごしまよか家	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ダーウィンの会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0046-0795	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

鹿児島県が提唱している『かごしま環境共生住宅』の定義に沿った住まいの提案をしている。

環境共生住宅とは、地球環境問題や資源・エネルギー問題、住宅の質や居住環境の問題といった今日の住宅をめぐる様々な状況に対処するために生み出された
「住宅とその居住環境」に関する思想と手法の体系です。その背景と定義、基本要件を以下に示します。

【背景】
□地球環境問
地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨など気球規模の環境問題は今や国際的な重要課題です。

□資源エネルギー問題
資源・エネルギーの大半を国外に依存する日本では、その調達や消費の有り方について長期的な見通しに立った対策が求められています。

□住宅問題
少子高齢化や地域の生活環境の悪化といった社会的な背景から、住宅内部や屋外の健康・快適性を重視し、自然・周辺環境との調和や景観に配慮した
より質の高い住宅の供給と居住環境の整備が求められています。

【定義】
地球環境を保全するという観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また周辺の自然環境と親密に美しく調和し
住み手が主体的に係りながら、健康で快適に生活できるよう工夫された住宅及びその地域環境。

【基本要件】
□基本要件１
地球環境の保全、住宅の生産・建設・維持・廃棄に係わるそれぞれの過程で、省資源・省エネルギー化を図り、自然・未利用エネルギーを活用する等
地球環境の保全について適切な配慮がなされていること。

□基本要件２
周辺環境との親和、住宅の計画、構・工法、維持管理、住まい方等の面で、周辺の自然環境や地域社会等との親和を念頭においた、適切な配慮がなされていること。

□基本要件３
居住環境の健康・快適性、住宅の内部・外部における居住環境の健康性及び快適性の実現について、計画・維持管理・住まい方のそれぞれの面で適切な配慮がなされていること

【認定低炭素】
2020年の改正省エネルギー基準をよりすすめた住宅を目指し、6地域と7地域が混在する県内において、より高水準かつ安定した断熱性能をもつ住宅を推進していく。

【性能向上計画認定住宅】
住宅のエネルギー消費性能を一層向上されるために、国土交通省で定める基準でより快適な住空間を提供する。

【ゼロエネルギー住宅】
より良い住空間の提供のために、ゼロエネ住宅をより推し進めて、地域的に豊富な日射量を享受しつつも、遮熱性能の向上も図っていく。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。